

ユベール・スターン & 英雄

今年80歳を迎える
名匠スターンが描く
ドイツ音楽の核心



指揮

ユベール・スターン

Hubert Soudant, Conductor

©F. Fujimoto



チェロ

ヨハネス・モーザー

Johannes Moser, Cello

©Matthias Baus

シューマン:

劇音楽「マンフレッド」序曲 op.115

Robert Schumann: Overture to "Manfred", op.115

シューマン: チェロ協奏曲 イ短調 op.129

Robert Schumann: Cello Concerto in A minor, op.129

ベートーヴェン:

交響曲 第3番 変ホ長調 op.55 「英雄」

Ludwig van Beethoven: Symphony No.3 in E flat major, op.55, "Eroica"

管弦楽

兵庫芸術文化センター管弦楽団

Hyogo Performing
Arts Center Orchestra



2026 10/16(金)・17(土)・18(日) 開演 3:00PM
(開場 2:15PM)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口西側/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
A席5,000円 B席4,000円 C席2,500円 D席1,000円(全席指定/税込)

ご予約
お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

10:00AM~5:00PM
月曜休 ※祝日の場合翌日

芸術文化センター会員先行予約受付開始 6/20(土)

一般発売

インターネット予約 ■芸術文化センター <https://www.gcenter-hyogo.jp> ■イープラス <https://eplus.jp>
■チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ■ローソンチケット <https://l-tike.com>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター
[6/23(火)より、残席がある場合のみ]

6/21(日)

※ブレイグaidでのお取り扱いについては各ブレイグaidにお問い合わせください。
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
©主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

助成:公益財団法人アフィニス文化財団



兵庫県立
芸術文化センター

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第172回定期演奏会

グラモフォン誌絶賛のモーザーのチェロ&スダーンが導くドイツ音楽

PACには欠かせない名匠、ユベール・スダーンのタクトで紡ぐドイツ音楽プログラム。前半は没後170年を迎える、ドイツ・ロマン派を代表する作曲家シューマンの2作品をお届けします。幻想的な響きに満ちた「マンフレッド」序曲に続き、詩情あふれる「チェロ協奏曲」のソリストに迎えるのは世界的チェリスト、ヨハネス・モーザー。深い内省と情熱に満ちた、チェロ協奏曲の傑作をいかに表現するのか、期待が高まります。

後半はシューマンが敬愛したベートーヴェンの作品から、交響曲第3番「英雄」をお届け。交響曲の新時代を切り拓いたとされる本作の革新の響きを、名匠スダーンとPACが鮮やかに描き出します。

指揮 ユベール・スダーン Hubert Soudant, Conductor

東京交響楽団桂冠指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢の名誉アーティスティック・アドバイザーを務めるユベール・スダーンは、1946年、オランダ・マーストリヒト生まれ。ブザンソン国際指揮者コンクール最高位、カラヤン国際指揮者コンクール第2位などに輝き、フランス国立放送フィル、ザルツブルク・モーツァルテウム管の首席指揮者、東京交響楽団音楽監督等を歴任。ベルリン・フィル、ロンドン響、ミュンヘン・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、ミラノ・スカラ座管、ローマ・サンタ・チェチーリア管など主要なオーケストラと共演し、オペラの分野でもパリ、パルマ、パレルモ、ボローニャなどのオペラハウスで精力的に活動を展開。2004年7月、ザルツブルク市名誉市民およびオーストリア・ザルツブルク州ゴールドデン勲章を授与された。近年は、大阪フィル、兵庫芸術文化センター管、札幌響、愛知室内をはじめとする日本各地のオーケストラから招かれている。



チェロ ヨハネス・モーザー Johannes Moser, Cello

ドイツ系カナダ人チェリスト、ヨハネス・モーザーは、英『グラモフォン』誌に「驚べき若手ヴィルトゥオーゾの中でも最も卓越した存在のひとり」と称された世界的奏者。これまでにベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、フィラデルフィア管、クリーヴランド管、ロンドン響、バイエルン放送響、ロイヤル・コンサートヘボウ管、チューリッヒ・トーンハレ管、NHK交響楽団などと共演。ムーティ、マゼール、ヤンソンス、ゲルギエフ、メータ、ウェルザー＝メスト、ティレマン、ブーレーズ、ネゼ＝セガン、ドゥダメルらの指揮者と共演を重ねている。録音活動も高く評価され、ドイツ・レコード批評家賞、ディアパゾン・ドール賞を受賞。最新アルバムは、2025年9月に発売された、スイス・ロマンド管弦楽団との共演による『エルガー&チャイコフスキー』。新作チェロ作品の委嘱における第一人者としても重要な役割を担い、2011年にはドゥダメル指揮ロサンゼルス・フィルと《Magnetar》を初演。近年はゾールヴァールズドッティル《Before we fall》を世界初演するなど現代作品にも積極的に取り組む。1979年生まれ。チャイコフスキー国際コンクール最高位。使用楽器は1694年製アンドレア・グアルネリ。



兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元気文化園賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC(バック)オーケストラ。 [https:// hpac-orc.jp](https://hpac-orc.jp)



PAC公式SNS



@HPACOrchestra



@hpac_orchestra



@hpac_orchestra



YouTube



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

